

特色ある教育

全学連携教育機構

本学は、総合大学として、各教育組織それぞれの専門分野に立脚した教育課程の編成・実施方針に基づき体系的な教育を展開しています。他方において、急速に進展する情報化、グローバル化への対応能力の修得は、専門分野を問わずすべての学生に求められるものです。これらの汎用的能力として、①問題発見・解決能力、②自己発見・自己認識力、③情報リテラシー能力、④日本語および外国語によるコミュニケーション能力等が挙げられます。

本学においては、これまでこれらの汎用的能

力の涵養に関わる全学的教育を個別の委員会組織を単位として実施してきました。さらに、その体制を構築するため、特色ある教育への取り組みのひとつ、ファカルティリンケージ・プログラム (FLP) を中心として、各学部等の教育体系との有機的な連携を図りながら、全学的教育を展開しています。その担い手として、全学連携教育機構を設置し、総合大学の強みを発揮しています。

<https://www.chuo-u.ac.jp/connect/future/>



ファカルティリンケージ・プログラム (FLP)

FLPは、幅広い学問領域をもつ総合大学のメリットを活かした教育プログラムです。各学部に設置された授業科目をピックアップして、5つのプログラムを設定。所属学部で主専攻を修めながら、学部の枠を越えて設けられたプログラムを体系的に学修することで、複数の専門知識をもった学際的な視点を身に付けることができます。

設置プログラム

- 環境・社会・ガバナンス
- メディア・ジャーナリズム
- 国際協力
- スポーツ・健康科学
- 地域・公共マネジメント

グローバルFLP

グローバル FLPは、実学教育を通じて修得した専門知識・技能を、グローバル社会で発揮できる「グローバル・プロフェッショナル」の育成を目指し、すべての科目を少人数制かつ外国語で教える全学的教育プログラムです。講師は海外での勤務経験のある教員が務めます。

AI・データサイエンス全学プログラム

文理を問わず全学部生を対象として、AI・データサイエンス分野をリテラシーから応用基礎レベルまで系統的に学修するプログラムです。リテラシーレベルの科目「AI・データサイエンスと現代社会」・「AI・データサイエンス総合」、プログラミング言語などを学ぶ「AI・データサイエンスツールI～IV」、ゼミ活動で課題解決型学習を行う「AI・データサイエンス演習」などの科目により、未来社会において新たな価値を見出す人材の育成を目指します。

教育力研究開発機構

今日、大学教育を取り巻く環境が大きく変化しています。18歳人口の急速な減少、社会経済のグローバル化、デジタル・トランスフォーメーションなどへ対応した、新たな大学教育のあり方が問われています。そこで、中央大学における教育のあり方について調査研究開発を行い、教育力を飛躍させることを目的として、2021年4月に教育力研究開発機構を設置しました。

- 本学の教育力飛躍のプラットフォームとして、
- ①教育コンテンツに関する技術的問題への対応、
 - ②オンライン授業コンテンツに関する権利問題へ

の対応、③ICTを活用した教育技法の研究開発、④FD(Faculty Development)とSD(Staff Development)との連携した取り組み、⑤学修成果の評価技法の研究開発、⑥DXに対応した新しい学生ポートフォリオの開発などに取り組みます。また、多様な実績を有する専任研究員の配置、学内の各領域の専門家との連携、産学協働など多様な手法を活用して、本学と日本の高等教育機関の教育力向上に貢献します。

https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/efforts/r_and_d/



これからの授業デザイン・実践ハンドブック

「中央大学の授業におけるデジタル技術活用の方針」に基づき、「これからの授業デザイン・実践ハンドブック～デジタル技術活用のヒント～」を作成しました。デジタル技術を活用した授業デザインの解説や、その実践をしている教員の「グッドプラクティス」を広くまとめています。

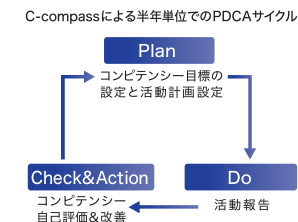
オープンバッジ

2021年度から一般財団法人オープンバッジ・ネットワークが発行するオープンバッジを導入しています。人生の様々なシーンで身に付けたスキルや経験を、一覽で他者に対しても示すことができる仕組みであり、本学では、新たな学修履歴・学修成果の可視化ツールとして位置付けています。

■キャリアセンター「知性×行動特性」学修プログラム

- 4年間を通じてコンピテンシーを伸ばす独自の学修プログラム
- 社会で必要となる力を着実に身に付けるためのセルフマネジメント・サポートシステム「C-compass」(シーコンパス)

「社会で活躍できる人になるには、どのような力を伸ばせばいいか」。そんな難題をクリアしてくれる中央大学独自のセルフマネジメント・サポートシステムが「C-compass」です。社会人に必要な「コミュニケーション力」「自己実現力」をはじめとする7分野31項目の「段階別コンピテンシー」*について半年単位で自己評価を行いながら、PDCAサイクル(計画→実行→評価→改善)を繰り返します。



*項目ごとに、レベル0からレベル5まで段階分けした評価基準を設けています。